

育児の援助を受けたい人と援助を行いたい人を結びます

神戸市

ファミリー・サポート・センター

通信

Vol.49

2024年3月発行



神戸市ファミリー・サポート・センター事業は神戸市社会福祉協議会が運営しておりましたが、2024年3月31日をもちまして、生活協同組合コープこうべ様にバトンを繋ぎます。これからも神戸市ファミリー・サポート・センターを宜しく申し上げます。

ファミサポ22年の振り返り

2001年(平成13年)6月事業開始



ファミサポで働き始めた時に私の子どもは保育園に通っておりました。その息子も今年で21歳になります。サポートを受けていた多くの子どもさん達も大人になっているのでしょうか。

ファミサポを支えてくださった多くのボランティアさん、いつも笑顔でスタッフを支えてくださったリーダーさん達との出会いは、私にとってかけがえのない時間でした。本当にありがとうございます。

これからも「助けられたり・助けたり」といったファミサポ活動が長く続いてくれることを願っています。

平成21年4月～平成27年5月 高橋 サユリさん

私がファミサポのアドバイザーとして皆さんと共に歩ませて頂いたのは、24年前に遡ります。神戸市にファミサポ事業が誕生した時に初めてのアドバイザーの一人として関わらせて頂きました。14年間もお世話になり、多くの方々のご縁を紡ぎながら仕事できたことは、私の大きな財産です。これからもファミサポは形を変えながらも、子育て中の保護者の方の支えとなって行くことでしょう。協力者の方々も子ども達や保護者の方と関わることでたくさんの笑顔をもらえたことと思います。

今までもこれからも、助けられたり助けたり。これまでファミサポの歴史を紡いでくださったアドバイザーさん達にありがとう。これからのファミサポにもエールを込めてありがとう!

平成13年6月～平成27年3月 木場 桂子さん

歴代 アドバイザー のことば



上段左
高橋さん、木場さん、
下段左
塩島さん、住田さんです。



ファミサポ誕生当初より13年間お世話になりました。

『核家族の中、子育て、仕事、家事を一手に背負う保護者にとって、子育ての一部だけでも地域の方に助けていただける仕組み』の橋渡し役の募集に「これだ!!」と応募。

保護者の方々の切実な「応援してほしい願い」を抱える依頼会員さん。どんなに朝早イサポートでも、どんなに夜遅いサポートでも「助けになれるなら」とサポートして下さる協力会員さん。双方の関係の、近隣の垣根を超えた関わりに温かい気持ちをたくさん味合わせていただきました。

人と人をつなぐ温かいファミサポの仕組みこそ、少子化対策の大きな役割を担っていると思います。これからもずっと続くことを願っています。

平成13年6月～平成27年3月 塩島 玲子さん

アドバイザーとして勤めさせていただいたのは7年。その間会員の皆様や職場の仲間には助けられました。

記憶に残っているのは、リーダーさんとの思い出。数々のイベントを開催してきましたが、今回の能登地震が起きたことで、東日本大震災支援イベントの事を思い出しました。

リーダーさんと展示や防犯グッズの作成などで貴重な時間を共有できたこと。また、日頃の備えの重要性を改めて認識しました。

現在も子ども関連の仕事をしています。ワンオペ育児の話をよく耳にします。ファミサポは、そんなお母さんのための力強い味方になっていただきたいと思います。

平成23年5月～平成31年3月 住田 和子さん

～発足当時の思い出～



私にとって、ファミサポはとても印象深い仕事のひとつです。当時、2歳と4歳の育児と仕事の両立真っ只中であり、そのような状況の中で、仕事に活かされたこともあったのではないかと考えています。

また、仕事の中で本当にたくさんの方と出会い、学ばせてもらいました。良い仕事に巡り合えたこと心から感謝しています。

名〇 麻里子さん



地域でボランティアを始めてみませんか？



神戸市の各区役所内の社会福祉協議会には、ボランティアセンターが設置されています。ボランティア登録をしていただくことで、ボランティアコーディネーターが活動の紹介をおこなったり、ボランティアに関する情報提供をさせていただきます。地域の子どもたちのために、皆さんの知識や経験を活かしてみませんか？

例えば こんな活動があります！



- ・こども食堂のお手伝い
- ・学習支援
- ・小中学生の登下校の支援
- ・新たなグループの立ち上げも可能



例えば こんな情報をお伝えさせていただきます！



- ・ボランティア中の事故に備える共済・保険
- ・活動に役立つ講座
- ・他のボランティアとの交流会



ぜひお気軽に、各区ボランティアセンターにお越しください。

ボランティアセンターについての詳しい情報はこちら→
<https://www.with-kobe.or.jp/detail/volasen/>



ボランティアセンターの場所・連絡先はこちら→
<https://www.with-kobe.or.jp/link/>



ボランティアセンターにいきなり行くのはハードルが高い…
ボランティア活動について、まずは基本的なことを知りたい方はこちら↓

ボランティア入門クラス参加者募集

参加無料
各回定員20名

初めての方も、下記の3ステップで気軽にボランティアを始めませんか

1. オンライン講座で基礎を学ぶ
2. ボランティア体験プログラムに参加
3. 交流会でボランティア仲間をつくらう



オンライン講座
受講後(希望者)



ボランティア体験後
(希望者)



ボランティア登録をすると
コーディネーターが希望等を伺い、マッチングします



オンライン講座(ZOOM)開催日程

下記の第3土曜日 10:00~11:00(1時間、事前学習有)

- ①令和6年4月20日 ②5月18日 ③7月20日
- ④9月21日 ⑤11月16日 ⑥令和7年1月18日

お問い合わせ

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会 地域支援部 ボランティア情報センター
〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-1-32 ころべ市民福祉交流センター4階
☎078-271-5317 受付:平日9:00~17:00 Mail:volasen@with-kobe.or.jp





会員の方のお知らせ



依頼会員へ

(1) 継続手続き

令和6年度も引き続き会員を継続される方は、下記2点をお願いします。

- ① 支援システムより更新
- ② お子さんの保育所、小学校名など登録内容に変更があれば修正。

(2) 新規依頼登録について

支援システムより「協力会員紹介依頼」というメニューがありますが、入力後、詳細をお伺いするため、センターまでお電話いただく必要があります。入力していただいても、お電話いただいているいない新規依頼については、協力会員をお探ししておりません。入力後には必ずお電話ください。



協力会員へ

(1) 更新手続き

今年度は更新が必要な年です。

- ① 支援システムより行えますので、住所、電話番号、活動できる曜日・時間帯等をご確認の上、変更があれば修正してください。
- ② メールでも受け付けます。
family@with-kobe.or.jpへ。
件名に「会員更新」、本文に会員番号、会員名、活動できる曜日・時間帯等をご記入ください。
- ③ 書面で更新手続き希望の方は郵送しますので3/20までにセンターまでご連絡ください。

(2) 退会手続き

family@with-kobe.or.jpへメールを送信。件名に「退会届」、本文に会員番号・会員名・退会理由をご記入ください。また、支援システムからでも退会手続きが行えます。

協力・両方会員へ ～フォローアップ～

フォローアップ講習会の動画を配信中です。視聴を希望される方はセンターまでメールもしくはお電話でお申ください。

講師：大阪公立大学大学院 特任准教授
中島 尚美 氏

テーマ：「子育て・親育ちをサポートするための共感性と関係性を育むコミュニケーション」

講師：神戸市教育委員会事務局 特別支援教育課
上野 昌稔 氏

テーマ：「障がいのある子どもたちについて知ろう ～特性と対応・支援の方法～」



支援システム活用について：ログインID及びパスワードが不明な方は、センターまでお問合わせください。メールでも受け付けています



お問い合わせ・お申し込みは

神戸市ファミリー・サポート・センター

運営：神戸市社会福祉協議会

〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-1-32

こうべ市民福祉交流センター 1階

TEL：078-262-1727 FAX：078-271-5365

Eメール：family@with-kobe.or.jp

ホームページ：http://www.with-kobe.or.jp/detail/family/

開室日：月曜日～金曜日

開室時間：午前9時～午後5時 ※土・日・祝日・年末年始はお休みです。